

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 8 月 15 日

評価対象事業		評価者	都市計画課担当課長	永井 淳一
まち-07	都市計画運営事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	都市計画課(都市計画担当)
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	市街地整備	施策の方針	市街地整備の推進

1 事業の目的

対象	市全域の土地利用・まちなみ
意図	都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって市域の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与するため。
効果	まちづくりの基本理念である「暮らしに自然・歴史・文化がいきる古都鎌倉」(鎌倉市都市マスタープランより)を目指す。

2 令和4年(2022年)度実施した事業の概要

- 都市計画に関する事項の調査・審議のため都市計画審議会を運営するとともに、都市計画の決定・変更等の手続を行った。
- 都市計画関連情報の更新に伴う都市計画図等の修正を行い、窓口等において活用した。
- 都市計画業務支援システムを活用し、業務効率化を図った。
- 最新の都市計画情報を公開型GISシステムとして継続的に公開した。
- 県下一斉に実施される市街化区域及び市街化調整区域の見直し作業を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値)	事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	都市計画審議会運営事務	都市計画審議会委員報酬等	-	- / -	-	-	/
02	都市計画図発行事務	印刷製本費	-	- / -	-	-	/
03	都市計画関連データ情報管理事務	都市計画業務支援システム保守業務委託	-	- / -	-	-	/
04		都市計画関連データ等修正業務委託	-	- / -	-	-	/
05		都市計画情報提供サービス業務委託	-	- / -	-	-	/
06		都市計画業務支援システムMicrosoftEdge対応改修業務	-	- / -	-	-	/
07		都市計画業務支援システム用機器賃借料	-	- / -	-	-	/
08		都市計画情報窓口閲覧用端末購入費	-	- / -	-	-	/
09		市街化区域及び市街化調整区域の見直し等事務	鎌倉市市街化区域及び市街化調整区域の見直し等検討業務委託	-	- / -	-	-
10	一般事務経費	消耗品費、会場使用料等	-	- / -	-	-	/
				340 / 390	356		
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	216 / 300	300		
			一般財源	2989 / 5172	18,696		
			事業費の合計(千円)	3,205 / 5,472	18,996		
		人件費(千円)		46,876	44,941		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	6	7	6	5.6		
会計年度任用職員	1	1	1	1		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	都市計画審議会運営事務	指標設定しない(都市計画決定及び変更案件等がある場合に、審議会に付議、諮問及び報告するものであり、指標設定には馴染まないため)	都市計画決定、変更等にあたり、審議会の意見を聞くことは都市計画法等に定められている。	新型コロナウイルス感染対策のためオンライン併用開催としたため、準備に時間を要していたが、事務の効率化を図り、準備時間の短縮に努めた。 今後もさらに会議の効率化に努めたい。
02	都市計画図発行事務	指標設定しない(都市計画図等は、都市計画決定及び変更等があった場合に修正し、印刷するものであるため、指標設定には馴染まない)	都市計画図等は、市民、職員等に幅広く使用されるものであり、都市計画の内容を周知するために必要である。	令和3年度の都市計画図決定・変更を踏まえ、都市計画図等の印刷を行い、行政資料コーナーでの販売等を通じて市民に周知している。 令和4年度は、都市計画変更等の箇所数が少なかったため、事業費を補正減し、附図の配布や窓口図書の見直しで周知を図った。 さらなる周知を図ることで、効率化に努めたい。
03	都市計画関連データ情報管理事務	指標設定しない(都市計画情報提供サービスは、市民サービスの向上を図るためのものであり、それに対する目標値の設定、また、確認が困難なため、指標設定には馴染まない。また、保守業務、データ修正業務及び都市計画業務支援システム用機器の賃借については、日々の都市計画業務に必要不可欠なものであるため、指標設定には馴染まない)	都市計画情報を適切に管理し、市民に提供するために、迅速、正確な市民サービスに寄与している。	都市計画情報提供サービスの公開について、市民、業者等に対し、さらなる周知に努め、市民サービスの向上に努める。
04	市街化区域及び市街化調整区域の見直し等事務	指標設定しない(関係機関との協議等により必要な作業量が変わってくるため、指標設定には馴染まない)	都市計画法第6条の2ほかの規定に基づく事業で、鎌倉市都市マスタープランは、この事業の方針に即したものである。	令和7年度の告示に向けて県下一斉で実施されるため、国、県等関係機関及び市内との調整を、それぞれ必要な時期に、必要な調書等によって段階的に協議を行いながら進めていく必要がある。
05	一般事務経費	-	-	-

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入
		△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価

※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画図等の活用・販売、都市計画支援システムの活用及び都市計画情報提供サービスにより、広く都市計画情報を公開し、また、問い合わせ等に迅速に対応していく。 ・令和3年度に策定した立地適正化計画の運用を行う。 ・県下一斉に実施される市街化区域及び市街化調整区域の見直し作業を国・県等の関係機関と調整を図りながら着実に進め、それに合わせた都市マスタープランの見直しを検討していく。 					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--